



## ①REAL4をインストールする際にUSBキーを挿したままインストールしてしまった！ 起動時のエラーを解決します。

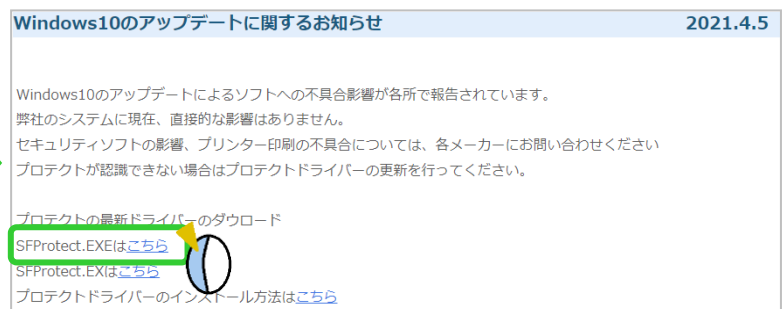
REAL4 を新規でインストールする際に、USB のプロテクトキーを挿したままインストールすると、起動時にエラーが起き、REAL4 が起動しません。その場合は次の方法で解決できます。



REAL4 を新 PC にインストールする際は、必ず USB キーを抜いた状態でインストールしてください。

データロジック HP( <http://www.datalogic.co.jp/> )の TOP ページ下側にある【プロテクトドライバー】ボタンをクリックすると、最新ドライバーのインストールリンク画面が開きます。

USB キーを抜いた状態のまま【SFProtect.EXE】の [こちら](#) ボタンをクリックします。

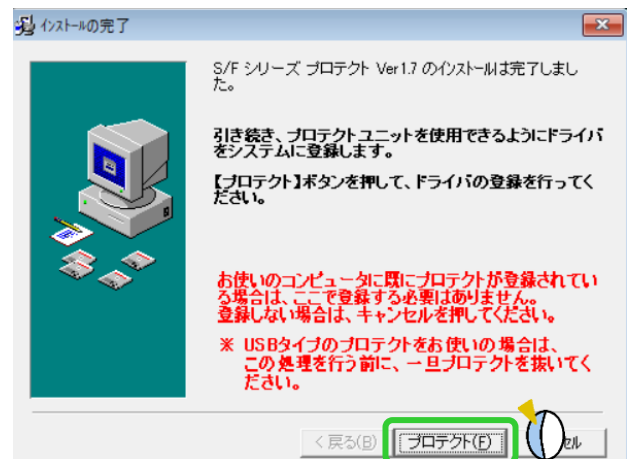
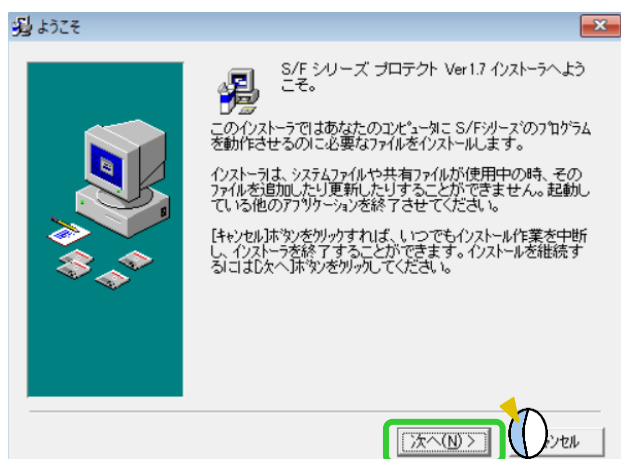


インストール画面が起動します。

[次へ](#) をクリックしプロテクトドライバーのインストールを行います。

インストールの途中で表示される [プロテクト](#) をクリックしドライバーをインストールします。

インストールがすべて終了したら **PC を再起動** し、再起動後に USB キーを挿して REAL4 を起動してください。



## ②REAL4をインストールする際にUSBキーを挿したままインストールしてしまった！ 起動時のエラーを解決します。

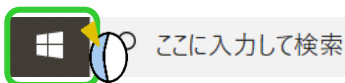


新 PC に REAL4 をインストールする際は、PC で使用しているセキュリティソフト(ディフェンダー等)で【SFSsystem】、【SFDData4】の除外設定を必ず行ってください。



新しい PC へ REAL4 をインストール時には必ず次の設定も行ってください。

画面左下のスタートボタンをクリックします。



【Windows システムツール】のフォルダを開き、【コントロールパネル】 - 【ユーザーアカウント】 - 【ユーザーアカウント制御設定の変更】をクリックします。

コンピュータに対する変更の通知を受け取るタイミングの選択を【通知しない】に変更してください。

※コントロールパネルの【表示方法】が【カテゴリ】になっている場合は、【大きいアイコン】もしくは【小さいアイコン】に変更してください。

